

取手市政
「ひどい！何とか
ならないのか」の声…

「財政難、を理由に、暮らし・子育て応援は貧弱のまま、多くの市民が反対する箱ものには、税金「使い放題、！」

取手駅西口開発

ウェルネスプラザ建設費

当初建設事業費の3倍の 20億5600万円に膨らむ

7億円→12億円→20.6億円→？億円

当初(2011年7月)示された「ウェルネスプラザ」建設事業費(土地代含まず)は約7億円、83%が反対意見だったパブリックコメント実施時(2012年7月)の建設事業費(同)は約12億円でした。

そして今回、市長はこの建設事業費を20.6億円(同)に膨らませ、市民に説明をせずに臨時市議会で、しかも年度末があと2ヶ月に迫った時期に大型の補正予算を組んでこれを議会で強行しようとしています。

一補正予算案一

- ◇平成25年度分…8億5000万円(用地代含)
- ◇平成26,27年度分として13億円

建設が進めば、
もっと膨らむ心配も…

「プラザ」に必要な健康器具などの備品費、施設オープン後の管理運営にどれくらいの費用がかかるのかは明らかにされていません。

違法計画の上に税金の無駄づかい

市民への説明・市民の声を大事にしてほしい

今回の「事業費が膨れる」のマスコミ報道に、市民の中から「取手市はどうなっているのか。あきれた」の声が出ています。こんな補正予算は「認められない」が市民多数の声です。

取手駅周辺を「商業・芸術・文化機能」の充実、取手グリーンスポーツセンター周辺を健康・医療・スポーツゾーンと位置付けた、取手市第5次総合計画・基本構想(2007～2016年)＝取手市最上位計画に違反するものであり、計画は中止すべきものです。

芸術文化施設整備用地として
取手市が茨城県から購入した土地



ウェルネスプラザ建設予定地
(B街区・県学生寮跡地)
1月25日撮影

1月30～31日 傍聴を！

臨時取手市議会

◆1月30日(木)

- ・午前10時(予定)から
本会議／議案および請願説明、
質疑など
- ・午後1時(予定)から 特別委員会

◆1月31日(金)

- ・午前10時(予定)から
本会議／委員会報告、質疑、討論、
採決

特別委員会も傍聴できます。

市民、「ウェルネスプラザ」の再検討求め請願提出

「最上位計画に違反、市民の合意もない「ウェルネスプラザ」は、中止・計画の再検討求め」市民から請願が出されました。建設費20億円の補正予算を審議する臨時議会招集が明らかにされて、わずかな期間の中で約500人(1月22日現在)の請願署名が集められ、さらに市民の怒りが署名の広がりとなっています。

まだ他にも駅前の「箱もの、建設が…(裏面に記載)

明るい取手

2014年1月26日号

◆日本共産党の見解を紹介します。

<http://toride.jcpweb.net> メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

発行:日本共産党取手市委員会 取手市井野3-19-6 TEL. 72-7816

ズサンすぎる取手駅前開発

「補正予算」で
建設費増額の繰り返し…
新設で増える運営管理コスト…

■歩行者デッキ

2014年3月完成予定

当初4億4070万円で契約した建設費に2122万円の増額補正。誘導員増員、防犯カメラ設置、屋根に雪止め追加、支柱への落書き防止等に1722万円。車の進入止めなどに210万円。竣工式典になんと200万円も！

■駐輪場タワー

2014年3月完成予定

約7億円(地代含む)の事業費で建設中の駐輪場。「管理費は年間3800万円かかる」と議会で報告。これまでの説明では、「駐輪場の新設で管理費は削減できる」と説明していましたが、管理費は約800万円増えます。



2014.1.25 撮影

いま、取手市にもとめられているものは暮らし・経営への応援、子育て支援の強化充実です。

若者、子育て世代が元気になれるまちづくりを



人口

※取手市ホームページより

■総人口

113,184人

2005年4月1日

109,955人

2013年4月1日

■年少人口(0～14歳)

13,650人

12,209人

商業(小売・卸売など)

※取手市統計より

2007年/事業所数914カ所(従業員数6,232人)

2012年/事業所数649カ所(従業員数4,495人)

せめて近隣の市町村なみに

子どもの医療費無料化 近隣市町村の実施状況は…

取手市	小学校卒業まで
守谷市	中学校卒業まで
龍ヶ崎市	中学校卒業まで
つくばみらい市	小学校卒業まで
稲敷市	中学校卒業まで
牛久市	中学校卒業まで
つくば市	中学校卒業まで
土浦市	中学校卒業まで
利根町	中学校卒業まで
阿見町	中学校卒業まで
美浦村	中学校卒業まで

やりがいや
働きがいを
持って
生活したい



丸山 俊介(桜が丘在住)

「やりがいや、働きがいを持って生活したい」20、30代の若者が交流の場で話していた共通する思いです。今も昔も変わらぬ思いの実現を。

安心して
子育てできる
地域を



高洲 英子(下高井在住)

取手はホットスポットと呼ばれる放射能が高い地域で、子どもの健康への影響が心配です。学校検診に放射線対策を含めるなど安心して子育て出来る地域を望んでいます。